

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 24日

名 \_\_\_\_\_ 放課後等デイサービス はなといろ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	○			・利用児童を活動内容でグループ分けするなどして、狭窄感がないように心掛けています。 ・利用児のその日の状態により、パーティションなどで空間を分けて環境調整を行っています。	
	2	職員の配置数は適切である		○		・送迎の際に、事務職員にドライバーの補助をもらうことがあります。	・職員配置数は満たしているが、送迎の際に人員が手薄になる場合があるので、職員間での声掛けやきめ細やかな情報共有などチームでの支援にあたることで、手薄な時間帯にも対応が出来るようにしていきます。また、職員個人のスキルアップを図るよう、自己研鑽に努めます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			・机上課題の時の姿勢保持のために、座面調整用具を使用しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○				・現在実施できていないため、法人内の各事業所を含め、検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・全体研修をzoomを使って施設内で分散して行うことが出来るように整備しました。	・個別の研修を受けた職員が、他職員へ伝達を行うために資料の回覧を行ったり、研修の報告会を行ったりして、職員全体のスキルアップを図るよう努めます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・活動プログラムの提案がしやすいように、掲示等を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○				

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○					・その日出勤の職員全員で打ち合わせを行うことは送迎などの関係で難しい時もありますが、その場にはいない職員に対しては個々に申し送りを行うよう努めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○					・その日中に十分できない時には翌日のミーティング時に行うようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○					・記録のとり方についての勉強会を開き、質の向上に努めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○					
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○					
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○					
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○					・送迎の際に、学校の担任の先生にごちやうほ話を伺うようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている						該当せず
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○					・相談支援から情報をもらい理解に努めています。また移行支援会議が行われる際は参加するようにしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○					
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○					・web研修に参加をしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				○		・コロナのため、他事業所等との交流は難しい状況ですが、感染状況が落ち着いたら、活動に機会を検討していきたいと思えます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○					
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○						

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				・ペアレント・トレーニングの研修会がある場合には、ポスター等を送迎で来られる保護者様が見やすい位置に掲示するようにしています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				・支援内容については送迎の際に伝えるようにしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				・その場で答えることができるものであれば答え、難しければ事業所に持ち帰り、後日答えるようにしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		・放デイとしての会はないが、事業所開催のファミリー会への参加の声掛けを行っています。	
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○					
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				・行事予定はお便りで、活動の様子はブログで発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○					
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				・筆談を行ったり、メモを渡して理解を深めています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている				○		・法人で「蓮の実祭り」を年1回開催していましたが、本年度もコロナ感染拡大のため中止となりました。終息後に企画したいと思います。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				・感染対策についての文書を配布し、また事業所内にも掲示しています。	
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				・年2回2月と7月に避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				・職員全体研修を行い、虐待防止を図っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○					
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				・保護者からの申し出により対応しています。 ・アレルギーのある児童が誤ってその食べ物を口にしないように食事の際には見守りを行っています。また、おやつを取り間違いないよう視覚的に示すようにしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○					